

問題1

x, y, z 軸方向の単位ベクトルをそれぞれ $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$ とし、2つのベクトルを $\mathbf{A} = \sqrt{2}\mathbf{i} - \sqrt{2}\mathbf{j}$, $\mathbf{B} = -3\mathbf{j} + 3\mathbf{k}$ と表す。以下の小問(1)-(4)に答えよ。(25点)

(1) $|\mathbf{A}|$ および $|\mathbf{B}|$ を求めよ。(3+3点) $|\mathbf{A}| = \sqrt{2+2} = 2, |\mathbf{B}| = \sqrt{9+9} = 3\sqrt{2}$.

(2) $\mathbf{A} \cdot \mathbf{B}$ を求めよ。(6点)

$$\mathbf{A} \cdot \mathbf{B} = (\sqrt{2}\mathbf{i} - \sqrt{2}\mathbf{j}) \cdot (-3\mathbf{j} + 3\mathbf{k}) = -3\sqrt{2}\mathbf{i} \cdot \mathbf{j} + 3\sqrt{2}\mathbf{i} \cdot \mathbf{k} + 3\sqrt{2}\mathbf{j} \cdot \mathbf{j} - 3\mathbf{j} \cdot \mathbf{k} = 3\sqrt{2}.$$

(3) \mathbf{A} ベクトルと \mathbf{B} ベクトルのなす角 θ ($0 < \theta < \pi$) を求めよ。(6点)

$$\mathbf{A} \cdot \mathbf{B} = |\mathbf{A}||\mathbf{B}|\cos\theta = 2 \times 3\sqrt{2} \cos\theta = 3\sqrt{2}. \quad \cos\theta = \frac{1}{2} \text{ より、} \theta = \frac{\pi}{3} = 60^\circ.$$

(4) $\mathbf{A} \times \mathbf{B}$ を求めよ。(7点)

$$\begin{aligned} \mathbf{A} \times \mathbf{B} &= (\sqrt{2}\mathbf{i} - \sqrt{2}\mathbf{j}) \times (-3\mathbf{j} + 3\mathbf{k}) = -3\sqrt{2}\mathbf{i} \times \mathbf{j} + 3\sqrt{2}\mathbf{i} \times \mathbf{k} + 3\sqrt{2}\mathbf{j} \times \mathbf{j} - 3\sqrt{2}\mathbf{j} \times \mathbf{k} \\ &= -3\sqrt{2}\mathbf{k} - 3\sqrt{2}\mathbf{j} - 3\sqrt{2}\mathbf{i} = -3\sqrt{2}(\mathbf{i} + \mathbf{j} + \mathbf{k}). \end{aligned}$$

問題2

図のように、 xy 平面上に半径 a の円弧状導体 (θ の範囲: $30^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$) があり、電流 I が流れている。 x 軸の負方向に一樣な磁場 $\mathbf{B} = -iB$ が存在するときの円弧状導体に作用する磁気力 \mathbf{F} を計算することを考える。 x, y, z 軸上の単位ベクトルをそれぞれ $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$ とし、以下の小問(1)-(4)に答えよ。(25点)

(1) 円弧状導体上の線素ベクトル $d\mathbf{s}$ の大きさ ds を求めよ。(4点)

$$ds = a d\theta.$$

(2) 電流要素 $I d\mathbf{s}$ に作用する磁気力を $d\mathbf{F}$ とするとき、 $d\mathbf{F}$ の大きさ dF を求めよ。(7点)

$$\begin{aligned} d\mathbf{F} &= I d\mathbf{s} \times \mathbf{B} \text{ において、} ds \text{ ベクトルと } \mathbf{B} \text{ ベクトルのなす角は、図より } \pi/2 - \theta \text{ なので、} \\ dF &= I ds B \sin(\pi/2 - \theta) = I B ds \sin(\pi/2) \cos\theta = I B ds \cos\theta = I a B \cos\theta d\theta. \end{aligned}$$

(3) (2) の dF を θ について積分し、導体全体に作用する磁気力 \mathbf{F} の大きさ F を求めよ。(7点)

$$F = \int_{\pi/6}^{\pi/2} dF = I a B \int_{\pi/6}^{\pi/2} \cos\theta d\theta = I a B [\sin\theta]_{\pi/6}^{\pi/2} = I a B \{ \sin(\pi/2) - \sin(\pi/6) \} = (1/2) I a B.$$

(4) (3) の磁気力 \mathbf{F} の方向を単位ベクトルで表せ。(7点)

$$d\mathbf{F} = I d\mathbf{s} \times \mathbf{B} \text{ より、} \mathbf{F} \text{ の方向はベクトル積 } d\mathbf{s} \times \mathbf{B} \text{ の方向に等しい。} d\mathbf{s} \times \mathbf{B} \text{ は} +z \text{ 方向を向くので、} \mathbf{k} \text{ の方向である。}$$

問題3

図(a), (b)に示すように電流 I が流れる長方形ループ(辺 ab と辺 cd は長さ l で y 軸に平行で、辺 bc と辺 da は長さ r で x 軸と角度 θ をなす場合)が、一様な磁場 $\mathbf{B} = B\mathbf{i}$ 内におかれた場合を考える。

以下の小問(1)-(4)に答えよ。ただし、 x, y, z 軸方向の単位ベクトルを $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$ とする。(25 点)

(1) 辺 ab および辺 cd が磁場 \mathbf{B} から受ける磁気力 \mathbf{F}_{ab} および \mathbf{F}_{cd} を求めよ。(7 点)

辺 ab が磁場 \mathbf{B} から受ける磁気力 \mathbf{F}_{ab} は、
$$\mathbf{F}_{ab} = I\mathbf{l}_{ab} \times \mathbf{B} = IlB(-\mathbf{j} \times \mathbf{i}) = IlB(\mathbf{k})$$

同様に、辺 cd が磁場 \mathbf{B} から受ける磁気力 \mathbf{F}_{cd} は、
$$\mathbf{F}_{cd} = I\mathbf{l}_{cd} \times \mathbf{B} = IlB(\mathbf{j} \times \mathbf{i}) = IlB(-\mathbf{k})$$

(2) 辺 bc および辺 da が磁場 \mathbf{B} から受ける磁気力 \mathbf{F}_{bc} および \mathbf{F}_{da} を求めよ。(7 点)

辺 bc および辺 da は x 軸と角度 θ をなすので、

辺 bc が磁場 \mathbf{B} から受ける磁気力 \mathbf{F}_{bc} は、
$$\mathbf{F}_{bc} = I\mathbf{l}_{bc} \times \mathbf{B} = IrB\sin\theta(\mathbf{j})$$

同様に、辺 da が磁場 \mathbf{B} から受ける磁気力 \mathbf{F}_{da} は、
$$\mathbf{F}_{da} = I\mathbf{l}_{da} \times \mathbf{B} = IrB\sin(\pi - \theta)(-\mathbf{j}) = IrB\sin\theta(-\mathbf{j})$$

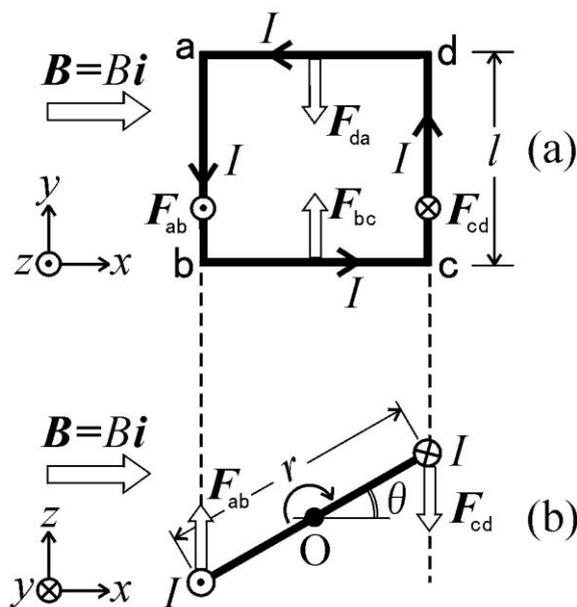
(3) 長方形ループは図(b)に示す点 O の回転軸を中心に回転する。この場合、回転方向は図(b)のように見ると時計回りか？それとも反時計回りか？(5 点)

図より、時計回り

(4) (3)の場合、生じるトルクの大きさを求めよ。(6 点)

$$T = \frac{r}{2} F_{cd} \sin\left(\frac{\pi}{2} + \theta\right) + \frac{r}{2} F_{ab} \sin\left(\frac{\pi}{2} + \theta\right) = \frac{r}{2} IlB\cos\theta + \frac{r}{2} IlB\cos\theta = IlBrcos\theta$$

$$\underline{T = IlBrcos\theta}$$



問題3の図

問題4

図に示す質量分析器を考える。極板間の電場が $E = Ej$ の速度選別器内に、質量 m 、負の電荷 $-q$ をもつ荷電粒子が速度 $\mathbf{v} = v\mathbf{i}$ で進入する場合を考える。ここで、速度選別器の磁場は $\mathbf{B} = B\mathbf{k}$ 、偏向領域の磁場は $\mathbf{B}_d = B_d\mathbf{k}$ である。以下の小問(1)-(4)に答えよ。ただし、 $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$ は x, y, z 軸方向の単位ベクトルである。(25 点)

(1) 荷電粒子が偏向されることなく速度選別器を通過する場合、荷電粒子の速度 v の条件を求めよ。(6 点)

$$\text{電気力 } F_e = -qE(\mathbf{j}) = qE(-\mathbf{j}) \text{ および磁気力 } F_m = -qvB(\mathbf{i} \times \mathbf{k}) = qvB(\mathbf{j}) \text{ より } qE = qvB \text{ よって } v = \underline{\underline{\frac{E}{B}}}$$

(2) 荷電粒子が速度選別器を通過後、偏向領域内で半円軌道を回転運動する時、到達点は図の a か b か？(5 点)

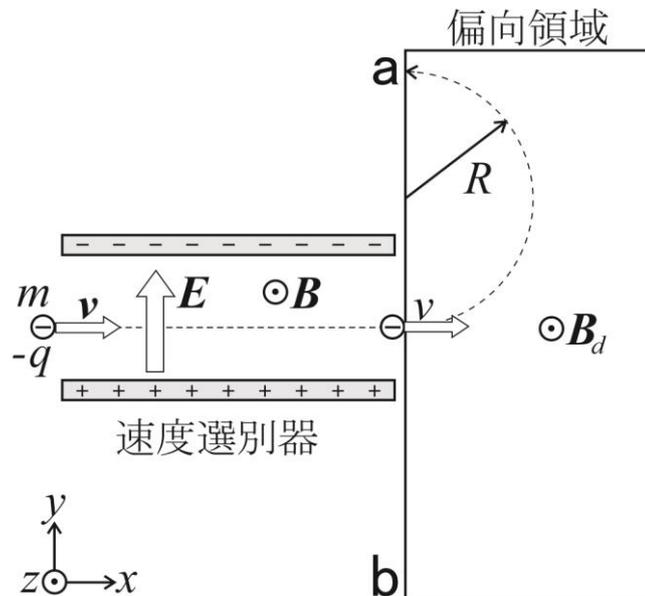
偏向領域に侵入して直後の磁気力は $F'_m = -qvB_d(\mathbf{i} \times \mathbf{k}) = qvB_d(\mathbf{j})$ より、図の様に軌道を描くので、到達点は a

(3) 荷電粒子が偏向領域内で半円軌道を回転運動する時の軌道半径 R を求めよ。ただし、答えは v を含めない式で表せ。(7 点)

$$\text{荷電粒子に作用する磁気力は回転運動の向心力であるので } qvB_d = \frac{mv^2}{R} \text{ より } R = \frac{mv}{qB_d} \text{ よって } R = \underline{\underline{\frac{mE}{qB_d B}}}$$

(4) (3)における荷電粒子の回転周期 T (1 回転するために必要な時間) を求めよ。ただし、答えは R, v を含めない式で表せ。(7 点)

$$\text{回転周期 } T = \frac{2\pi R}{v} = 2\pi \frac{B}{E} \frac{mE}{qB_d B} = \frac{2\pi m}{qB_d} \text{ よって } T = \underline{\underline{\frac{2\pi m}{qB_d}}}$$



問題4の図